

平成23年度一般会計予算を可決

— 予算の組み替えにより

災害対策の財源を確保 —

第1回定例会は、2月18日から3月22日までの33日間の会期で行い、議案34件、陳情8件について議決しました。(8頁参照)

また、2月20日には、日曜議会を開催し、市長の施政方針に対する各会派等の代表質問を行いました。

緊急事態発生時に対応した一般会計予算と7件の特別会計予算などを可決

予算特別委員会(井沢邦夫委員長・やなぎ孝義副委員長)は、議案第1号として提案されていた平成23年度国分寺市一般会計予算(歳入・歳出それぞれ378億8,800万円)の審査を3月7日から行っていました。しかし、3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、市長は、緊急事態に対処するため必要があるとして議案第1号を撤回するとともに、その内容を急ぎよ組み替えて、議案第38号として3月22日に提案しました。併せて、議案第37号「国分寺市庁舎建設資金積立基金条例を廃止する条例」を提案しました。

議案第38号は、災害対策の財源を留保するため、議案第1号において残高が大幅に減少していた財政調整基金(※)の残高を確保することを目的に予算の組み替えがされています。歳入・歳出の合計金額はそれぞれ383億2,913万8千円となっています。

予算の組み替えの主な内容としては、次の3点です。

- (1) 庁舎基金条例を廃止し積立金の全額15億9,800万8千円を財政調整基金に積み立てる。
- (2) 市民の生命・健康・福祉に影響する事業

などは除いた上で各事業の見直しを行い10億5,338万円の財源を確保し、5億578万円を財政調整基金に積み立てる。

- (3) 災害対応等予定外支出に対応できるよう予備費を1億円に増額する。

概略、以上のような内容になっています。

委員会におきましては、各委員から「組み替え内容の詳細な資料が示されていないことや国分寺駅北口再開発関連事業費が見直しの対象になっていない理由」「財政調整基金を取り崩した後の財源対応」「旧庁舎の取扱いと今後の庁舎問題」「市民相互が助け合い、力を発揮していけるような土壌を醸成するための予算確保の必要性」などについて質疑や見解が示されました。これに対し「予算の組み替えは政策部が一定の基準で見直している。仮に漏れがあれば適宜対応する。防災上からも安全な駅前を整備する必要がある」「改めて財政調整基金の活用等を含めて全体像を議会に示す」「庁舎問題は庁内で議論をし、方向性を見極めていく」との答弁がありました。

本議案については、予算特別委員会、本会議ともに賛成多数で可決しました。

また、7件の特別会計予算、並びに議案第37号「国分寺市庁舎建設資金積立基金条例を廃止する条例」についても可決しました。

(各会派等の予算に対する討論は5～7ページを賛否状況は7ページをご参照ください。)

(※) 財政調整基金 年間の財源の不均衡を調整するために積み立てられた積立金のことで、一般に地方自治法第241条に基づく基金の形で行われる。積立金は、経済情勢の変動により財源が著しく不足する場合や災害により生じた経費等に充てることができる。

開発事業手続き・基準等についてまちづくり条例の一部を改正

まちづくり条例は、市のまちづくりの基本理念を定め、豊かな緑と水と文化財にはぐくまれた安全で快適なまちづくりに寄与するために制定され、平成17年から施行されてきました。今回可決した「国分寺市まちづくり条例の一部を改正する条例」は、まちづくりの状況変化に対応するため、開発事業の手続きや基準等を改めるというものです。本案は当初、議案第53号として平成22年2月に提案されましたが、審査経過を踏まえ、同年11月に一旦撤回された後、改めて、議案第151号として提案され、これまで継続して審査を進めていました。

これまで条例を運用していく中では、宅地開発に当たっての敷地面積の最低限度や必要な道路幅員が多摩地域の他市に比べて厳しい基準に定められている。相続が発生し土地の売却を行う場合、他市に比べて土地の評価が低くなり、より広い面積の土地を処分しなければならなくなっており、このことが農地の減少につながっていること、また、開発事業を行う場合に、条例の手続きに非常に多くの時間がかかることなどが指摘されていました。

委員会においては、これまで開発区域の面積が、3,000㎡未満の場合、敷地面積の最低限度

次ページに続く ↓

3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。

国分寺市議会といたしましても、被災地への支援について最大限の努力を行う所存であります。一日も早い被災者の方々の心の平穏の回復と被災地の復旧を心よりお祈り申し上げます。